

第107回南陽の菊まつり 宮内会場 「作品募集」要項

○目的

「だれもが参加・交流・体験でき、身近に感じることができる」「人づくり・地域社会づくりに寄与できる」菊まつりとするため、宮内会場での菊まつりという地域づくりに参加していただくことを目的とします。

○会場 南陽市宮内 熊野大社周辺 屋外

○期間 令和元年10月4日(金)～10月18日(金) 15日間

○募集作品

作品募集については、「A 菊を使ったフラワーアート部門」「B 菊を使った生け花部門」「C 菊の作品部門」の3部門とします。なお、作品のテーマは菊に関連するものとし、会場及び展示期間は上記のとおり。ただし、作品は1点のみとはせず、展示期間途中で作品を入替することができます。

○免責事項など

- ・出品者は展示作品に対する全ての責任を負うものとし、
- ・主催者は、出品作品の紛失、損傷、盗難などによる損失及び出品に関して生ずる来場者等第三者への損害等に対しては、賠償の責を負わないものとし、出品者は必要に応じて各自で保険を掛ける等の対応をお願いします。
- ・災害時や荒天時の作品の保護・避難等は原則的に出品者にて行っていただきます。ただし、事務局の判断で作品の一部または全部の搬出や避難、保護等を行うことがあります。
- ・本イベントが不可抗力原因による開催中止となった場合は、これによって生ずる損害、費用の増加、その他不利な事態については責任を負わないものとし、
- ・本作品展は、南陽の菊まつり宮内会場へ来られた多くの方にご覧いただくため、屋外の一般道路脇での展示となります。本事業と作品展の主旨、公共空間での展示のリスクを充分にご理解・ご納得の上、ご参加を決定してください。
- ・「展示作品に近づかない」等、作品鑑賞上の注意事項は標記しますが、様々な事態を考慮いただき、万が一の際にも来場者に危険が及ばない構造に仕上げてください。

○その他 展示及び展示作業に関する詳細については下記問合せ先までご連絡ください。

○募集締切 令和元年9月13日(金)まで

○申込み・問合せ 南陽市商工観光課 (TEL 0238-40-8295)

◆公募 A 菊を使ったフラワーアート部門

- ・対象者 高校生・一般
- ・作品内容 菊を使用したフラワーアート
造花の使用も認めるが、生花との割合は最大でも 5 割程度とする。
- ・作品規模 奥行 120 cm×間口 150 cm×高さ 270 cm
- ・展示期間 一週間程度楽しめる作品（準備日などは要相談）
- ・募集数 3 個人・団体とし、応募多数の場合は、事前審査により決定する。
- ・準備金 3 万円を上限とする。
- ・その他
 - ・屋外に設けた特設ブース（正面のみが開かれた木製の箱）での展示となるため、正面からの風雨等を考慮した作品とすること。
 - ・一般道脇での展示となるため、安全面に充分考慮した構造とすること。
 - ・展示期間中の作品管理については原則として応募者自身が行うこと。
 - ・準備に使用する道具類は自身で用意し、準備の際のゴミは各自持ち帰ること。
- ・作品デッサン
応募作品のデッサンを記載してください（花材・資材・構造等の説明もお願いします）。

○作品テーマ「

」

◆公募 B 菊を使った生け花部門

- ・対象者 高校生・一般
- ・作品内容 菊を使用した生け花(生花、造花問わず)
- ・作品規模 奥行 45 cm×間口 60 cm×高さ 100 cm
- ・展示期間 一週間程度楽しめる作品(準備日などは要相談)
- ・募集数 6個人・団体とし、応募多数の場合は、事前審査により決定する。
- ・準備金 3千円とする。
- ・その他
 - ・屋外に設けた特設ブース(正面のみが開かれた木製の箱)での展示となるため、正面からの風雨等を考慮した作品とすること。
 - ・一般道脇での展示となるため、安全面に充分考慮した構造とすること。
 - ・展示期間中の作品管理については原則として応募者自身が行うこと。
 - ・準備に使用する道具類は自身で用意し、準備の際のゴミは各自持ち帰ること。
- ・作品デッサン
応募作品のデッサンを記載してください(花材・資材・構造等の説明もお願いします)。

○作品テーマ「

」

「菊の作品部門 (C)」

- ・対象者 菊まつりに参加したい個人及び団体
- ・作品内容 菊をイメージした作品 例) 書道、絵画、手芸、盆栽など
- ・作品規模 60 cm×60 cm程度のボックスに展示できる大きさ
- ・展示期間 10月4日～10月17日までの間で展示が可能な日
- ・募集数 4個人・団体
- ・その他
 - ・屋外での展示となるため、風雨等を考慮した作品展示とすること
 - ・一般道脇での展示となるため、安全面に充分考慮した構造とすること。
 - ・展示期間中の作品管理については応募者自身が行うこと。